

九州の新・成長企業

有力各社の新製品・新技術

西部特集
九州の新・成長戦略
2014

昭和鉄工

昭和鉄工の業務用自然冷媒ヒートポンプ給湯システム「エコキュー」は、能で貯湯量を調節する最適制御システムと井戸水(地)



システムには、学習機能で貯湯量を調節する最適制御システムと井戸水(地)

業務用ヒートポンプ開発

昭和鉄工の業務用自然冷媒ヒートポンプ給湯システム「エコキュー」は、400リットル以上の密閉式タンクによる独自の内部構造を特徴とする。タンクが満水で圧力がかかる密閉式は、開放式に比べてシステムが簡単で施工や保守管理がしやすい。サブタンクなどを除いたシステムや燃焼式給湯機を利用するシステムを構築できる。4月に自社開発ヒートポンプのラインアップに加えた。

病院や高齢者施設、宿泊施設、レストランなどに適している。

戸上電機製作所

戸上電機製作所は太陽光発電(PV)システムの経年劣化などに起因する火災リスクを低減する「PV緊急切離装置」を開発した。この放電の発生時に太陽電池モジュールを切り離す機能も備える。同装置は日本電機工業会(東京都港区)、FAIR2014製品コンクールで経済産業大臣賞を受賞し、戸上電機は3年連続する火災などの二次



異常に太陽光パネルを切り離す装置を開発した。アーフォルトは電路の絶縁化や接続部の不良により、アーフォルトを発生することがある。アーフォルトは温度が数千度に達すると、発生状態が継続する。アーフォルトは、アーフォルトを発生する。

太陽光発電火災リスク低減

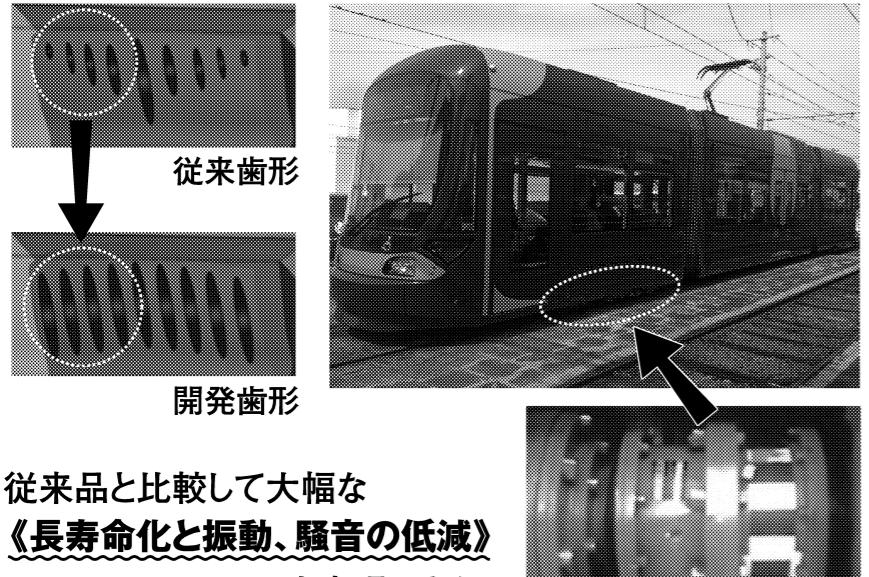
戸上電機製作所は太陽光発電(PV)システムの経年劣化などに起因する火災リスクを低減する「PV緊急切離装置」を開発した。この放電の発生時に太陽電池モジュールを切り離す機能も備える。同装置は日本電機工業会(東京都港区)、FAIR2014製品コンクールで経済産業大臣賞を受賞し、戸上電機は3年連続

製鉄機械・各種プラントの重荷重から船舶・電車等高速、急傾斜まで

新製品のラインアップ

<http://www.kyushu-hasec.co.jp>

Kyushu Hasec Railway Gear Couplings



従来品と比較して大幅な『長寿命化と振動、騒音の低減』を実現できた。

研究開発力を高めエンジニアリング企業を目指す動力軸総合メーカー

■1970年創立 カップリングの専門メーカー

株式会社 九州ハセック

本社第2工場 九州営業所
第一京阪大業務所

一 経済産業省「元気なもの作り中小企業300社」選定企業 —

〒822-0033 福岡県直方市大字上新入1677-5

〒822-0033 福岡県直方市大字上新入1677-14

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-21-14 明治安田生命蒲田ビル2F

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-11-27 花原第2ビル8F

- 非インボリュート歯形により、あらゆる傾斜角において滑らかな噛合を実現。
(特許取得済)
- 特殊加工により、無負荷時発生するアンバランスによる異常振動を無くした。
- 自社開発による歯面研削盤により、高精度、高強度かつ最大許容傾斜角15°以上を実現。

研究開発力を高めエンジニアリング企業を目指す動力軸総合メーカー

■1970年創立 カップリングの専門メーカー

株式会社 九州ハセック

本社第2工場 九州営業所
第一京阪大業務所

一 経済産業省「元気なもの作り中小企業300社」選定企業 —

〒822-0033 福岡県直方市大字上新入1677-5

〒822-0033 福岡県直方市大字上新入1677-14

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-21-14 明治安田生命蒲田ビル2F

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-11-27 花原第2ビル8F

日本政策金融公庫総合研究所が2013年11月に発表した「中小企業の新事業展開に関する調査」で、中小企業経営における興味深い調査結果が明らかになった。新事業展開を行っている企業は、行っていない企業に比べて、売上高や利益額が増加傾向にある。当然のことだが、常に活動している企業は「成長性が高い」という結論だ。売上高平均を10年前と比較すると、新規事業展開を行っていない企業では減少しているのに対し、行っている企業は増加している。また、新事業展開にあたっては「新分野」で63.4%、「新商品」で73.5%の企業が代表者が発案したと回答している。こうしたことを裏付けるように、九州のチャレンジ企業は独自の新製品や新技术で自社のみならず業界を牽引(けんいん)している。九州チャレンジ企業の注目の新製品・新技术をみる。

CRC

CRCグループは西日本トヨタクラスの各種検査実績を誇る。その中で食品検査や水質検査、大気検査、環境検査などをを行うのがシ・アル・シー食品環境衛生研究所(福岡市東区、江川智弘社長、092-623-2211)。2014年4月1日から騒音および振動に関する測定の受託を開始した。

近年の騒音・振動規制に連した法令強化や基準明確化の重要性を背景に、同測定に対する問い合わせは増加している。この状況を受けて同社では、この3月



騒音・振動測定の様子 分野が加わり、騒音と振動の2種別が加わった。今後はCRCグループの技術力を結集し、より精度の高い測定結果を出すことで顧客満足度の向上に努める構えだ。

騒音、振動の検査事業開始

航空機部品検査に本格参入

新日本非破壊検査(北九

州市小倉北区 中山正社

幡西四丁目)と共同で複雑な形状の配管内を検査する管内検査サービスを行って

D)照明と相補型金属

酸化膜半導体(CMO

S)カメラを搭載して

おり、直径100ミリ

200ミリの配管内を

360度回転しながら

走行して検査する。

視野が狭い、暗い、

操作が煩雑など課題が

多かった従来のファイ

バースコープ法から脱

した新たな検査方法と

して注目されている。

いる。同ロボットは発

光ダイオード(LED)

D)照明と相補型金属

酸化膜半導体(CMO

S)カメラを搭載して

おり、直径100ミリ

200ミリの配管内を

360度回転しながら

走行して検査する。

視野が狭い、暗い、

操作が煩雑など課題が

多かった従来のファイ

バースコープ法から脱

した新たな検査方法と

して注目されている。

いる。同ロボットは発

光ダイオード(LED)

D)照明と相補型金属

酸化膜半導体(CMO

S)カメラを搭載して

おり、直径100ミリ

200ミリの配管内を

360度回転しながら

走行して検査する。

視野が狭い、暗い、

操作が煩雑など課題が

多かった従来のファイ

バースコープ法から脱

した新たな検査方法と

して注目されている。

いる。同ロボットは発

光ダイオード(LED)

D)照明と相補型金属

酸化膜半導体(CMO

S)カメラを搭載して

おり、直径100ミリ

200ミリの配管内を

360度回転しながら

走行して検査する。

視野が狭い、暗い、

操作が煩雑など課題が

多かった従来のファイ

バースコープ法から脱

した新たな検査方法と

して注目されている。

いる。同ロボットは発

光ダイオード(LED)

D)照明と相補型金属

酸化膜半導体(CMO

S)カメラを搭載して

おり、直径100ミリ

200ミリの配管内を

360度回転しながら

走行して検査する。

視野が狭い、暗い、

操作が煩雑など課題が

多かった従来のファイ

バースコープ法から脱

した新たな検査方法と

して注目されている。

いる。同ロボットは発

光ダイオード(LED)

D)照明と相補型金属

酸化膜半導体(CMO

S)カメラを搭載して

おり、直径100ミリ

200ミリの配管内を

360度回転しながら

走行して検査する。

視野が狭い、暗い、

操作が煩雑など課題が

多かった従来のファイ

バースコープ法から脱

した新たな検査方法と

して注目されている。

いる。同ロボットは発